

公開実用平成 2-26871

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-26871

⑬ Int. Cl.⁸

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)2月21日

H 04 N 5/64
B 60 R 11/02
H 04 N 5/66

1 0 2

Z 7605-5C
C 8920-3D
H 7443-3D
Z 7605-5C

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 自動車用テレビ

⑯ 実 願 昭63-105344

⑰ 出 願 昭63(1988)8月9日

⑱ 考 案 者 伊 藤 正 信 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内
⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号
⑳ 代 理 人 弁理士 村田 幹雄

明 細 書

1. 考案の名称

自動車用テレビ

2. 実用新案登録請求の範囲

自動車内に設置して、テレビ放送を受像し、又は道路地図等を表示するために用いる表示画面を備えた自動車用テレビにおいて、

上記表示画面を、液晶の画像面とし、自動車の天井に設置してなることを特徴とする自動車用テレビ。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は、液晶表示による表示画面を備えた自動車用テレビに関する。

〔従来技術〕

従来、自動車用テレビの表示画面はブラウン管により構成されているため、ある程度奥行のある形状を有していた。このため、自動車用テレビを

公開実用平成 2-26871

設置するには、運転席のセンターコンソール部に収納したり、キャビネットに収容して後部座席に設置していた。

〔考案が解決しようとする課題〕

上述した従来自動車用テレビの表示画面は、ブラウン管を使用しているため、奥行が必要であり、設置場所が制約されることから、画面の大きさに制限があった。このため道路地図の表示に用いる場合、画面が小さくて見づらい等実用上役に立たないという欠点があった。

また、運転席のセンターコンソール部に設置された場合、表示画面が運転者の視野に入るため、安全上の理由から走行中はテレビ放送を受信できない構造となっており、走行中に同乗者がテレビ放送を見ることができないという欠点があった。

〔課題を解決するための手段〕

上記従来課題を解決するため本考案は、自動車内に設置して、テレビ放送を受像し、又は道路

地図等を表示するために用いる表示画面を備えた自動車用テレビにおいて、上記表示画面を、液晶の画像面とし、自動車の天井に設置してなる構成とし、大きな表示画面を提供し、かつ同乗者が常にテレビ放送を楽しむことができるようにしたものである。

〔実施例〕

次に、本考案について図面を参照して説明する。

第1図は本考案の一実施例の使用状態を示す概略図である。

図において、1は自動車、1aは前部シート、1bは後部シート、2は表示画面、3は運転者、4は同乗者である。

実施例において自動車用テレビは、自動車1の天井に設けてテレビ放送等の画像を表示する表示画面2と、テレビ放送等を受信するための受信部（図示せず）と、放送局の選択や道路地図等の表

公開実用平成 2-26871

示への切替えを行なう操作部（図示せず）とからなる。受信部は、従来の自動車用テレビと同様に自動車1の車体中に備え付けられる。また、操作部も、従来と同様自動車1のセンターコンソール部等に設けられる。

表示画面2は、画像表示を液晶表示によるものとしてある。その結果、表示画面2は非常に薄い板状の形状を有している。また、横幅を自動車1の天井の幅とほぼ同寸法とし、縦方向の長さを自動車1の天井の長さの半分程度としてある。このため、表示画面2は、自動車1の天井に設置することが可能となる。

本実施例においては、表示画面2を自動車1の天井の前半分にある程度後方に傾けて設置してある。これにより、表示画面2は、後部シート1bに座った同乗者4にとって見易いものとなる。

また、表示画面2を自動車1の天井に設けたこ

とにより、運転者3の視野に表示画面2が入らず、運転者3が表示画面2を見るためには前部シート1aの背を倒すことが必要となる。さらに、表示画面2を自動車1の天井に設置する際、表示画面2の角度を調節する装置を設けてもよく、これによって同乗者4の体格等に応じて、表示画面2の角度を調節して常に見易い状態にすることができ、かつ運転者3が表示画面2を見る際にもより見易い状態を得ることができる。

なお、表示画面2は最大で自動車1の天井と同じ形状及び寸法を有するものでもよい。

〔考案の効果〕

以上説明したように本考案は、自動車内に設置して、テレビ放送を受像し、又は道路地図等を表示するために用いる表示画面を備えた自動車用テレビにおいて、上記表示画面を、液晶の画像面とし、自動車の天井に設置してなる構成としたため、センターコンソール部やキャビネットの大き

公開実用平成 2-26871

さ等に制限されない大きな画面を得ることができ、道路地図等を表示する場合、詳細に表示することができるという効果がある。

また、表示画面の設置場所を自動車の天井としたことにより、走行中は表示画面が運転者の視野に入らないため、走行中にテレビ放送等を受像しても安全上の問題は無く、同乗者が常にテレビ放送等を楽しむことができるという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例に係る自動車用テレビの使用状態を示す概略図である。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 : 自動車 | 1 a : 前部シート |
| 1 b : 後部シート | 2 : 表示画面 |
| 3 : 運転者 | 4 : 同乗者 |

代理人弁理士 村田幹雄

第 1 図

